



るもい風土資産カード

しよさんべつ天文台

月着陸宇宙船をモデルにした 日本最北の天文台

環境庁が主催する「星空コンテスト」で、美しい星空のひとつに選ばれた初山別村。平成元年(1989年)にオープンした「しよさんべつ天文台」は日本最北の天文台で、通常観測のほか教育目的で一般公開されています。日本海を見下ろす美しい自然に囲まれた「みさき台公園」にあり、アメリカのアポロ計画で使われた月着陸船をモデルにした、ユニークな外観が目印。前年2月に開催された「青年サミット・イン留萌」において、広域的な文化施設の建設が提案され、各関係機関による検討の結果、留萌地方の活性化、子ども達の科学する心を育てる学習の場及び道内天文愛好者の活動の場として初山別村に建設することが決定されたものです。

ドームは直径6mの鉄骨造り。ドームの回転やスリットの開閉は電動式で360度回転します。誰でも気軽に星空が楽しめるよう、館内には口径65cmの望遠鏡をはじめ、口径20cm、7.6cmの望遠鏡が備えられ、夜間は天体観測のプログラムが用意されています。また、日中でも天候が良ければ、太陽の表面の観察や条件次第では3等星くらいまでの星を観望することができます。

特徴のひとつである「マイ・スターズ・システム」は、約26万個あるといわれている5.5等星以上の名もない星に、好きな名前などが付けられる独自のシステム。結婚記念、誕生日など個々の思い出にと名付けられた星の登録数は、令和2年4月で1万件に達しています。登録した人には登録書やIDプレート、星図などが送付され、星の名前は永久に保管されます。TVドラマの舞台ともなり、一躍有名スポットになりました。

見どころ

月着陸船をモデルにした鉄筋3階建て、直径6mのドーム型の天文台には肉眼の8600倍の集光力を誇る65cm反射式天体望遠鏡も備えられ、国内はもちろん、中国、韓国、米国など海外からもたくさんの天体愛好家が訪れています。

ポイント

「マイ・スターズ・システム」の登録した人に送られる登録書は音楽CDになっています。IDプレートを持参して来館すると、入館料が無料になるほか、自分で名前をつけた星を天文台の専門員がナビゲートしてくれます。

五感で感じる！ 風土資産の魅力

聴く 触る 味わう 嗅ぐ 知る

触る

65cm反射式天体望遠鏡は15等級までの星を見ることが可能です。倍率は対象の天体や大気の状態によって使い分けられます。肉眼で見ただけでなく写真を撮影することや、ビデオカメラを取り付けて映像撮影することもできます。実際に操作してみましょう。

知る

人気ドラマ「白線流し」の舞台になり、町おこしにも一役買ったしよさんべつ天文台。

マイ・スターズ・システムにはドラマの登場人物の7人の名前も登録してあるので、探してみるのも良いかもしれません。

■基本情報 (R4. 6)

住 所：苫前郡初山別村字豊岬130-1 みさき台公園内
T E L：0164-67-2539
開館時間：14:00～21:00(4月～9月30日)
12:00～19:00(10月～3月31日)
(水曜日は10:00～17:00)
休 館 日：毎週火曜日、水曜日
冬季休館12月1日から2月末日まで
入 館 料：高校生以上200円/小・中学生100円/幼児無料